

大学院で**自信**をつけてから教員になりませんか

大学院で身につけた「**問題解決能力**」を学校現場に生かしましょう



金沢大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻

<http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/di/>

金沢大学大学院教育学研究科の目的と特色



■いま学校教育に求められるもの

政治・経済のグローバル化の進展や産業構造の変化など社会の大きな変動期にあつて、学校教育もまた大きな変革を迫られています。これからの社会では、質の高い学力はもとより、新たな道を切りひらいていく独創性や強靱な志、さらには困難な状況にある人びとを支援する姿勢や能力をもった人間の育成が必要になってきます。そのためには、学ぶ者だけでなく教える者も、自立した人間でありつつ多様な人びとと対話し協働できること、専門性を高めつつそこに閉じこもらないことが肝要になります。

■教育実践高度化専攻へ

金沢大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻は、そのような新たな教育的課題に対応できる修士レベルでの教員養成をめざして、2009年度に誕生しました。本研究科は1982年度に開設されたのですが、それまで教科ごとに12に分かれていた専攻を一挙に一つに統合・再編して再出発したのです。

教育科学および各教科や特別支援教育の専門科学の自律性を尊重しつつ、それぞれの専門的知見を教育実践の中で総合すること。大学の理論知と教育実践現場のプロフェッショナルのもつ知見やスキルを総合すること。学士課程卒業生が研究の姿勢や実践的知識を現職教員から学びつつ、現職教員もまた新しい研究テーマや教育観・教師観を抱く学士課程卒業者と対話・協働する経験を積むこと。こうしたところに本研究科の特色があるといえます。とりわけ、研究科の全教員がそれぞれの学問分野の専門家という立場から学校での授業研究に参加する「教育実践基礎研究」は、本研究科ならではの授業といえるでしょう。

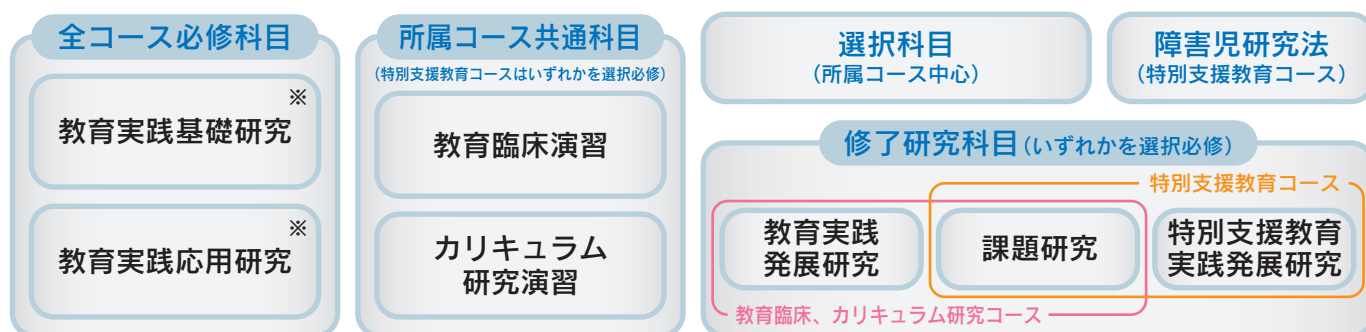
■高度な指導力と応用力を育てる

このように本研究科は、教職大学院とも既存タイプの教育学研究科とも異なるやり方で、学校現場の教育課題に対応したより高度な実践的指導力・応用力を持った教員の養成をめざします。教員養成に特化した研究科であるために入学者選抜にあたっては一定の条件を満たしておくことが受験資格になりますが、研究テーマや課題はかなり自由に選ぶことができますし、意欲さえあればどこまでも深く学ぶことができます。また、社会人や外国人留学生にも門戸を開いています。

コースの教育目的

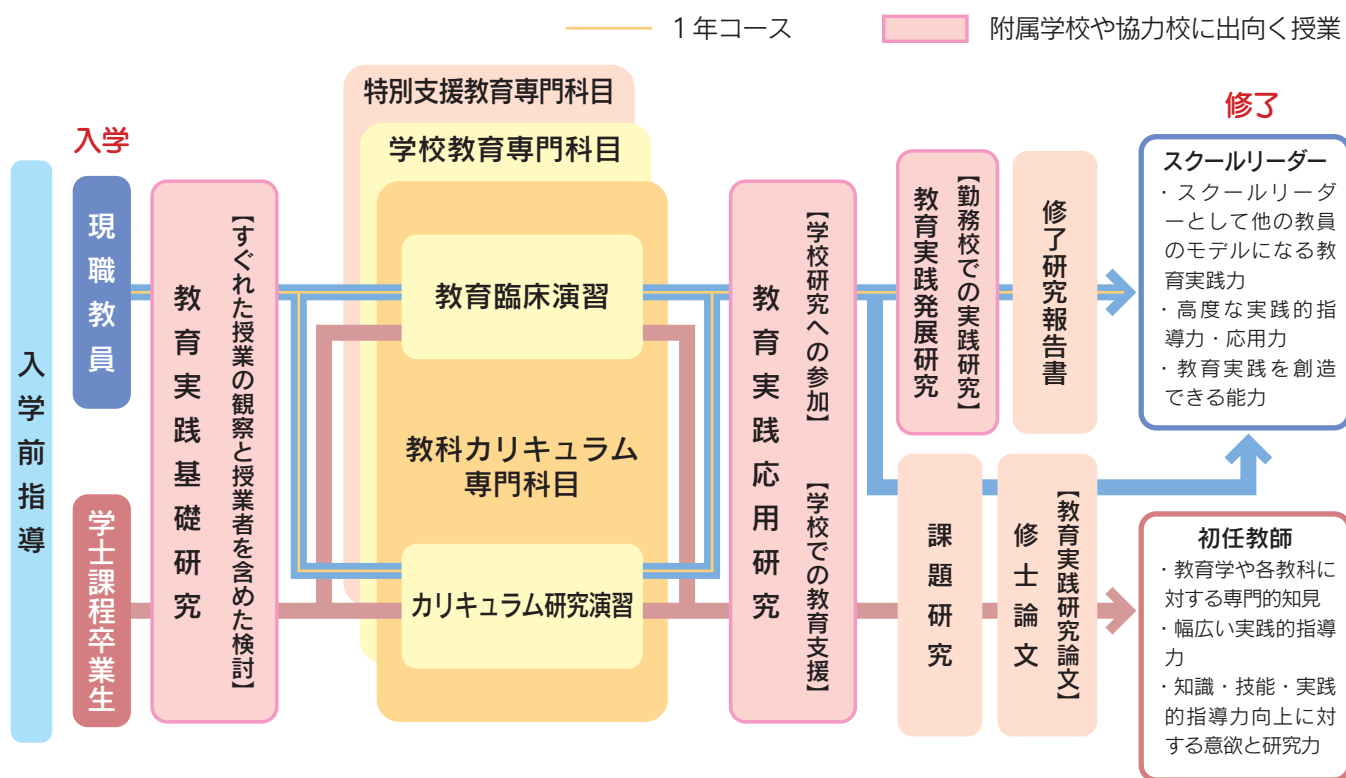
教育臨床コース	教育や学校についての原理的・基礎的な研究を踏まえながら、教科教育内外の多様な臨床的諸問題を解決できる力を育てます。
カリキュラム研究コース	学校におけるカリキュラム上の諸課題に照らして、教科等に関する高度な専門的知見を活用できる力を育てます。
特別支援教育コース	学校における特別支援教育に関する諸問題を、原理的及び臨床的な研究を総合しつつ解決できる力を育てます。

カリキュラムの構成



※印の科目を中心に、石川県教育委員会・金沢市教育委員会・地域の学校や本学学校教育学類附属学校園の協力をいただいています。

履修の流れ - 入学から修了まで -



これまでになかった新しいタイプの授業科目



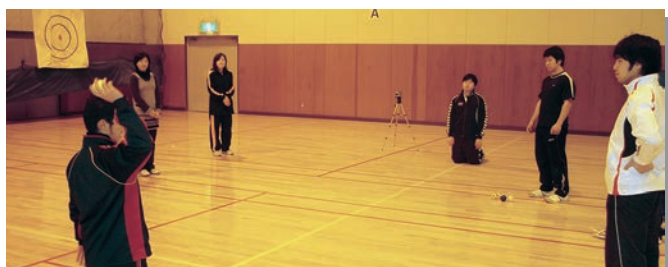
●教育実践基礎研究●

附属学校や協力校の授業を参観し、その実践について授業者および大学教員を交えて議論することを通して、教育実践に対する見方を習得し、すぐれた教育実践を可能にする基礎を学びます。



●教育実践応用研究●

附属学校や協力校における授業補助などの学校支援または学校研究への参加などを通して、教育実践基礎研究で培った教育実践の見方・考え方を実際の場面に応用し、総合的な実践力を高めます。



●カリキュラム研究演習●

教科・学校種の枠を越えた視点から、教材の分析、それに基づく教室での扱いなど、カリキュラムについての創造的な討論を行います。



●教育臨床演習●

教育や学校についての原理的・基礎的な研究をふまえ、具体的事例を積極的に用いながら、学校で生じる多様な臨床的諸問題を解決するための理念・視点や方法について学びます。



●教育実践高度化プロジェクト研究●

ベトナムのハノイ師範大学、台湾師範大学と連携し、現地で教員養成と教育実践に関する学術交流や異文化理解に取り組んでいます。



●教育フォーラム●

授業科目以外に、県内の学校関係者も交えてフォーラムを開催し、学校教育の現代的な課題についてディスカッションするとともに、修了研究報告書の発表などを行います。

修士論文・修了研究報告書（抜粋）

《修士論文》

- 授業内における教師－生徒間の信頼関係
- 教師によるイメージマップの活用が子どもの関連づける活動に与える効果について
- 『伝統校における野球部活動に関する実証的研究』 — 「文武両道」の現代的課題を探る —
- 対話をなかだちに論理的思考力・表現力を育てる学習指導 — 中学校における「話すこと・聞くこと」領域を中心に —
- 専門職者へのインタビューをもとにした社会科教材開発の提案 ～パワーポイントを使った定置網漁の授業～
- ファストプランツを用いた植物の実験観察教材の研究 ～小学校第5学年における授業実践を通して～
- イオン液体を用いた金属錯体のサーモクロミズム
- イメージ力を高める教具についての研究 ～美術と算数科の連携～
- 美術教育における田中一光と琳派についての研究
- 「学校体育指導要綱」（1947）における「体育理論」の導入過程
- A Study of Curriculum Development in Elementary School English Language Education: Application of Spiral Approach (小学校英語教育におけるカリキュラム開発に関する研究：スパイラルアプローチの応用)

《修了研究報告書》

- Action Research on Developing EFL Learners' Willingness to Communicate (英語学習者の話す意欲を育てる教授法)
- 科学的な力を育成するための授業とその評価

取得可能な教育職員免許状の種類

教育職員免許状の種類	免許教科・特別支援教育領域
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、工業、家庭、情報、福祉、英語
中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
小学校教諭専修免許状	—
幼稚園教諭専修免許状	—
特別支援学校教諭専修免許状	聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者

- 所要の基礎資格を有する者で、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得したときは、基礎免許状に対応する上記の表の専修免許状が取得できます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本研究科は、広く教育科学と専門科学とを総合し、教育することや教育する内容に関する専門的知見を基礎にしつつ、教育の理論的、実践的な研究を究めるとともに、学校現場の教育課題に対応したより高度な実践的指導力・応用力を持った人材の育成を目的とする教員養成に特化した修士課程です。

入学者の選抜にあたっては、教員免許状取得(見込)者、あるいは教育施設等での教育歴を有する方で、教育の理論的・実践的な研究、及び学校現場の教育実践の研究に強い意欲を持ち、それらの研究に必要な学力や能力を有する人を求めます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

教育科学と多様な専門科学を架橋する教育体系のもとで、学校現場の教育課題に対応できる高度な実践的指導力・応用力を持った教師の養成に特化した教育を行います。そのために、学校現場を積極的に活用し、学生の自発的な研究活動を支援して、教育の理論的、実践的な力量の獲得をめざします。

- 1) 全コース必修科目の「教育実践基礎研究」では、小・中学校の優れた授業の参観と、授業者を交えた分析・考察を通して、授業に対する認識を広げます。同じく全コース必修科目の「教育実践応用研究」では、学校研究に関するフィールドワークを通して、学校研究の諸過程に必要な認識を深めます。
- 2) 各コースの専門科目群では、理論と実践を往還した実践的力量をつけるため、学校教育、教科教育、特別支援教育に関する学問的成果と、関連する諸科学の知見も含めた見識の獲得をめざします。
- 3) 修士論文もしくは修了研究報告書の作成では、自らの課題意識に即し、理論と実践とが結びついた、教育実践についての高度に専門的な研究能力を涵養します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

本研究科を修了すると「修士(教育学)」が授与されます。本研究科における「修士(教育学)」の到達目標は、「学校現場における問題解決能力の獲得と、そこに至るプロセスを理論的に他者に説明・伝達し、教育実践の高度化に向けて還元していく能力を獲得すること」です。このことは、教育学の専門知と実践知を習得し、それらを総合的に運用することで、学校教育現場における複合的な諸現象を前に、①「問題」を知覚し認識し、②問題を「課題」として設定し、③課題を分析し、④課題解決のためのプランを創出し、⑤プランを実行し検証できる能力を獲得することを意味しています。

短期修業制度について

5年以上の教員経験を有する方で、事前相談により、「教育実践発展研究Ⅰ」に相当する研究経歴、研究業績、研究計画を有すると認められ、かつ「修了研究報告書」の作成計画を有すると認められた場合には、標準修業年限1年で修了することができます。
(本制度適用希望者は必ず事前相談を受けてください。)

長期履修制度について

有職者で職務上の理由から著しく学修時間の制約を受ける方、家事・育児・介護等に就いている方で著しく学修時間の制約を受ける方、その他本研究科で認められる事由がある方は、在学年限の範囲内で長期履修制度の適用を受けることができます。

さらに詳しい情報はHPで <http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/di/>



金沢駅から角間キャンパスへのアクセス 〈北陸鉄道バス利用の場合〉

JR金沢駅東口バスターミナル6番のりばから 91 93 94 97 北鉄バス「金沢大学(角間)」行き乗車、「金沢大学(角間)」下車 徒歩約3分 ※「金沢大学中央」で下車した場合は徒歩約5分

発行：金沢大学大学院教育学研究科
問い合わせ先：人間社会系事務部学生課教育・地域学務係
TEL (076)264-5600, 5603 FAX (076)234-4167